
「なんか知らんが勇者に選ばれた」

けちゃ

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「なんか知らんが勇者に選ばれた」

【Zコード】

N7715Y

【作者名】

けちや

【あらすじ】

テキトー勇者と仲間の怠慢冒険！

ボケありソッコリありメタありバトルあり（？）ワブメあり（？）

残念系ほのぼの冒険コメディーファンタジーストーリー！

1話：「旅立たぬなりお金だよな」（前書き）

はじめまして、けちやとこります。初投稿なので拙い部分もあるか
と思いますが、よろしくお願ひします。

一話：「旅館の金券を貰ひなさいよ」

静かで清々しい毎日がり。

「いやー、堂々と民家漁るのはこいもんだねえ。お、旅人の服発見

タンスを開きながら俺が言つて、

「勇者さん・・・あんまりうっこいもんじやないです・・・。

と、僧侶がんこ怒られた。いやあ、怒つても可愛いなあ僧侶ちゃん。

「まだ貰えるものはないおいたほうがいいんじゃない?貢ぎ物だと困つて。」

などと地味に腹黒いことを言つのは賢者。おねーさんキャラだが驚くほどひつね「済すわよ~」「めんなさい何も言つません。

「こじてもお前ら面倒なことつてるなー。タンス」と持つてけばいいじゃないか

・・・。このガチムチマッショは戦士。アホ。キング・オブ・アフオ。A・F・O。

・・・ いきなり俺が勇者だと告げられ、王様に100Gと銅の剣を貰つて旅立つてはや数ヶ月。

勇者の動き（強奪）も様になつてきた。

しかしこれから世界救いに行くつてヤツに100G + 安物の剣つて・・・俺達の国そんなに財政難だったのか・・・。

今は俺達の住んでいた城下町から北東の、小さな村にいる。

「それにしても静かでいい村ですね。自然も綺麗ですし・・・。」

僧侶ひやんがそんなことをいつと戦士は、

「やつかあ？ 何もない村だし、早く洞窟の魔物片付けちまおつぜー！」

とか言い出した。この脳筋には自然を楽しむ感性はなかつたらしい。とはいえこの村が魔物に困らされているとこつのは聞いているので、とみんなに聞くと、

「いいんじやない？ 夜出歩くのは危険だしね。」

と賢者。

「じゃあもう飯が食えるんだな？ ヒヤツホウー！」

・・・なんで俺コイツ仲間にしたんだっけ・・・

1-話：「旅立てるお金はありますか？」（後書き）

まだまだ始まつたばかりですが、意見要望質問アドバイス等あると嬉しいです！

「……」「裏田さん、あなたは迷わないでね。向こうは迷わないでね。」

「いや、俺達は村の近くの森の奥にある洞窟に向かった……のだが。

「迷った……」

森は薄暗く、田舎もなーのすぐ迷ってしまった。

「しかし勇者が道に迷うなんて珍しいなー！ リンゴも木から落ちるつてやつか？」

・・・戦士のアホが何か言つてるので、ツツコんだら負けかと思いつつも、

「お前はアレか、万有引力でも発見したのかー！ ポークン戦士」

と、わざとツツコんでやる。

「それを言つながらサルですよ戦士わん・・・

俺の態度とは逆に、優しく教えてあげる僧侶ちゃん。マジ天使。

「なにはともあれ、早く進まないとまずいんじやないかしら？」

賢者が話を進めてくれる。確かに出てくる敵は雑魚とはいって、このままでは消耗してしまう。

「じゃあ、どうして進む？ 僧侶ちゃん。」「

まずは進まないと埒があかないのでもう少し西海岸で聞いてみる。

「え？ じゃあ東に・・・」

一
西
か
」

卷之六

ええええええ！ひどいです皆さん！何で聞いたんですか！」

僧侶ちやんの勘が驚くほど当たらないのは、これまでの短い旅で嫌といつほど思い知つた。

「ぐすん・・・皆さんが私の！」とイジメます・・・」

「ま、方向は決まつたし進みましょうか。」

拗ねてる僧侶ちゃんを華麗にスルーして賢者が歩き出したので、俺と戦士も後に続く。

「ふええ・・・おいてかないで下をいいいいいい！」

僧侶ちゃんの指すほうと真逆に歩き続けると、洞窟の入り口が見えてきた。

「ここまで完璧に当たらぬなんてな・・・流石の俺も田からゴボウだぜ・・・」

「すこぶる斬新な田をしてるんだなお前だ」

「俺たちやんが落ち込んでるのそれを叫びながらロロロだと呟いてる人もいる」。

「戦士の中では」とわざがマイブームなのかしらね・・・

「賢者はやういひが、やうだとしたら迷惑」の上な。シシコむかの身にもなつてくれよ。

まあそれまでおこといて、

「わい、氣を取り直してダンジョン攻略とこまかー。」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7715y/>

「なんか知らんが勇者に選ばれた」

2011年11月23日13時51分発行